

平成22年度 一般会計補正予算説明資料

4款 衛生費

1項 公衆衛生費

健康政策課（内線：7194）

9目 生活習慣病予防対策費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)がん対策強化推進事業	0	4,411	4,411				4,411	
トータルコスト	0	6,025	6,025	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	0.2人	0.2人	がん対策推進体制とがん普及啓発の強化				
工程表の政策目標 (指標)	がん死亡率の減（19年度を基準とし、10年以内に20%減）							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>本年6月に『鳥取県がん対策推進条例』が制定されたところであり、これを契機に本県のがん対策推進体制の強化を図るとともに、がんについての正しい知識の普及及びがん検診の受診啓発の取組を強化する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) がん対策推進体制の強化</p> <p>条例制定を契機に『鳥取県がん対策推進県民会議（仮称）』を設置。医療、大学、がん拠点病院、緩和ケア、がん患者、民間事業者、教育、市町村、県など、各団体の代表者を委員とし、幅広い立場から本県のがん対策について協議いただき、県民と一丸となってがん対策を推進する。</p> <p>○主な協議内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・禁煙支援・受動喫煙防止対策の推進 ・がん検診受診の推進 ・事業所におけるがん対策の推進 ・子宮頸がん予防ワクチン等による予防対策の推進 ・がん患者、がん患者家族への支援 ・県民運動としてのがん対策への取組方策 <p>○所要額</p> <p>委員25名（旅費、報酬、その他開催経費等）×2回開催＝812千円</p> <p>(2) がん普及啓発</p> <p>ア 新聞による啓発</p> <p>地元新聞において、紙上シンポジウムを掲載及びがんの記事のシリーズ連載。（2,552千円）</p> <p>イ がん対策推進リーフレット作成</p> <p>本県のがんの現状を含め、がん予防、治療など、県民にわかりやすいリーフレットを作成し、関係機関やイベント等で配布する。（483千円）</p> <p>ウ 大腸がん検診受診啓発テレビCM放映</p> <p>テレビCMにより大腸がん検診を呼びかける。（564千円）</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>(1) がん対策推進体制の強化</p> <p>がん対策推進体制の強化のため、『鳥取県がん対策推進県民会議（仮称）』を立ち上げ、あわせて現行組織である『鳥取県がん対策推進協議会』の見直しを行う。</p> <p>(2) がん普及啓発</p> <p>平成20年に策定された「鳥取県がん対策推進計画」に基づき、平成21年度より、本格的に啓発事業を開始した。市町村、医療関係機関、民間企業等と連携し、新聞やテレビニュースに取り上げられるなど話題性のある効果的な啓発を展開できた。</p> <p>啓発の事業効果については、すぐには現れないものであるが、効果や反響等を確認しながら、引き続き実施していく必要がある。</p>								